

TONARI

2015 夏号 

グッドネーバースジャパン 会報

CONTENTS

- ネパール地震緊急支援 活動報告
- マラウイ洪水緊急支援 活動報告
- フィリピン小学校新校舎が完成
- リアンドチャド・スクールの今
- 子ども支援事例のご紹介
- アリフくんの手紙を届けました
- イベント・啓発・ネットワーク活動
- KURADASHI~もったいないを価値へ~
- スタッフの一日



グッドネーバース 活動地域MAP



海外事業

緊急支援

ネパール地震緊急支援 活動報告

2015年4月25日ネパール中部でM7.8の地震が発生しました。死者数は周辺国を含み8,702人に達し、全半壊した建物数は約78.5万戸に及びました。(UNOCHA 6月3日) グッドネーブーズは普段から地域開発を実施しており、特に被害の大きいゴルカ郡を中心に支援を開始し、市街地から孤立した山間部などで、被害状況の調査・緊急支援物資配布、医療チームの派遣等を行っています。

グッドネーブーズの緊急支援地域 : Gorkha District >



【活動内容】

緊急支援物資配布

グッドネーブーズは地震から3日後の4月28日に、フィナム村の200世帯を対象に、最初の支援物資を実施しました。その後、最も被害の大きかったゴルカ郡の6200世帯のほか、首都カトマンズなど2000世帯に緊急支援物資を配布し、現在までに4万人を超える被災者を支援してきました。

地震で道路が崩壊しているため、緊急支援チームは目的地まで6時間以上、徒歩で移動することもありました。また、山間部では物資配布があると“知る”ことも難しく、地域の代表と一軒一軒訪問し、配布のお知らせを行いました。雨期が近づくネパールでは、支援物資の一つである防水シートは品薄状態であり、インドで調達したこともありました。

医療チームを派遣・モバイルクリニックの運営

5月4日に韓国より派遣された医師1名・看護師1名・救命救急士1名からなる医療チームは、現地医療スタッフと共に診療にあたり、傷の消毒から縫合手術まで行いました。診療を受けた子ども達と住民に薬を処方し、さらに防水シート、毛布、非常食などの緊急支援物資を配布したほか、伝染病予防のため、370世帯に衛生キットを配布しました。医療チームは孤立した山間部でモバイルクリニックを運営し、5日間で900人余りの被災者がモバイルクリニックを訪問しました。



診察をする医療チーム

ロシャン カルレくん (18歳)



ロシャンくんは、家から逃げ出したときにトタン屋根で手首を切ってしまい、13日間治療することができずにいました。ソティ村でモバイルクリニックが行われると聞き、朝6時に父親と家を出発して4時間も歩いて到着しました。「怪我をして以来、初めてきちんと治療を受けました。どうすべきか途方に暮れていましたが、やっと安心しました。消毒薬ももらえて、管理方法も詳しく教えてくれたので、家でも自分で治療できます。支援物資を配布し治療もしてくれたグッドネーブーズにとっても感謝しています」と話してくれました。

仮設教室の設置

全42校ある小学校の内、90%以上が倒壊したとされているゴルカ郡に仮設教室を設け、子ども達の学習空間を創りました。また、地域住民の健康・衛生改善のために保健所の復旧を進めています。子ども達がいち早く心身の安定を取り戻していくことと同時に、継続的な学習の支援が必要です。



仮設教室での様子

チャイルド・フレンドリー・スペースで心のケア



CFSで心のケアプログラムを受ける子ども達

被災者の心理的ストレス軽減のため派遣されたPTSD（心的外傷後ストレス障害）対策チームは、現地にチャイルド・フレンドリー・スペース(CFS)を設置して、子ども達の心のケアを実施するとともに、現地の教師を対象としたトレーニングも行っています。アルアルバン村にはチャイルド・フレンドリー・スペースが2か所設置され、そのうちの1つでは子ども達150人を対象に、遊び・音楽・美術のプログラムを行いました。約2,000人の子ども達を対象に継続的な心のケアプログラムを進めています。

【子どもの安否について】

今回の地震により、グッドネーブーズが支援する子どものうち、9名が犠牲になり、14名が怪我をしました。（日本の子どもサポーター様が支援している子どもの中に人命にかかわる被害はありませんでしたが、1名が足に怪我を負いました。）亡くなられた子どものご冥福と、体や心に傷を負った人々の一日も早い回復をお祈りいたします。



崩壊しがレキと化した建物

【ネパール地震緊急支援募金にご協力お願いします】

被災地では崩壊した学校に代わる仮設校舎、子ども・女性・高齢者のための心理ケア、飲料水確保のための水道整備、浄水槽および浄水器普及などが求められています。グッドネーブーズはゴルカ郡地方政府との協議の結果、発災後3か月間の初期復興プロジェクトを進めており、GNJPでも水道の応急修理事業を実施しています。同時に地域全体の長期復興支援計画も検討中です。皆様の温かいご支援をよろしくお祈りいたします。

▼ 銀行振込※で寄付

銀行名：三菱東京UFJ銀行 本郷支店
口座番号：普通 1155337
口座名義：トクヒ)グッドネーブーズ
振込依頼人名：振込依頼人名の後に「ネパールジシン」と入力。
(例) ヤマダ ハナコ ネパールジシン

▼ 郵便払込で寄付

郵便局窓口にある「払込取扱票」または「郵便振替払込請求書兼受領証」にご記入ください。
口座番号：00900-9-78879
加入者名：NPO法人グッドネーブーズ ジャパン
通信欄：「ネパール地震」と記入。
払込人住所氏名：必ずお名前、電話番号、郵便番号、住所をご記入下さい。

*銀行振込みによるご寄付の場合、住所が特定できないため領収書をお送りすることができません。この場合は**寄付金控除の対象外**となりますので、何卒ご容赦ください。ご希望の際は、郵便局よりお振り込みください。確定申告時の税控除申請には領収書が必要です。※ホームページ経由でクレジットカードを使ってご寄付いただくことも可能です。(手数料不要)

アフリカ南東部に位置するマラウイは、豊かな自然と四国の1.5倍の広さをもつ湖（マラウイ湖）がある美しい国です。1月の豪雨の影響でマラウイ湖や南部の河川が氾濫し、洪水による甚大な被害が発生しました。あまりに被害が大きいため、未だに多くの避難民がおり支援が行き届いていません。こうした状況を受け、グッドネーバース・ジャパン（GNJP）は4月26日、齋藤スタッフ 谷口スタッフの2名をマラウイに派遣しました。

【支援の流れ】

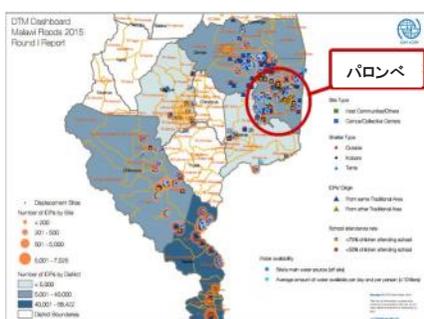
市場調査



被災地調査、被災者インタビュー、対象世帯調査



支援物資配布



reliefweb(2015/03/31)

GNJPスタッフは、今回の事業地域である南部州パロンベ地区での調査、災害管理局との打ち合わせ、そして対象世帯の選定を実施しました。対象者の選定には、妊娠中の女性や、高齢者、体が不自由な人がいる世帯など、支援をより必要としている世帯を優先するため、災害対応を担い、各世帯の状況を誰よりも知っている『VCPC』という住民組織の協力を仰ぎました。5月23日から25日にかけて、洪水で被災した556世帯に食糧と石鹸や調理器具・蚊帳などの生活用品、そして家の再建に必要なビニールシートなどを配布しました。

【被災者へのインタビュー】



洪水で家を失った20代前半の女性（写真左）は、以前に夫を亡くし、一人で4人の子どもを育てているそうです。家があった場所は、今は何もありません。2月に避難所から出て、親戚の家の一室（3畳ほど）を借りて暮らしています。「家は何よりも必要です。その次に食料が心配です。」主食であるトモロコシの収穫期を迎えたパロンベですが、洪水の影響で量も少なく、ほとんど備蓄がないそうです。

【現地に行った谷口スタッフ、齋藤スタッフに聞いてみました】



谷口スタッフ

Q.マラウイの現状を教えてください。

事業地であるパロンベは洪水の被害が特に大きかった地域です。洪水自体は1月に発生しましたが、最近まで学校などで避難生活を送っていた家庭が多くありました。現地を訪れると土地はとても乾燥しているので、洪水の面影は全くありませんが、倒壊した家屋が頻りにみられます。洪水で作物の収穫量も著しく減っており、食糧不足は深刻です。

Q.市場調査から物資調達のプロセスで苦労したことはありますか。

たとえば鍋を購入するとしても、数多くある鍋の中から現地の生活にふさわしいものを選ぶことが大切です。ただ、見知らぬ土地で限られた時間と予算で大量に購入でき、そして信頼できる業者を探すのは簡単ではありません。今回は物資が20品と多いので、調達も一苦労でした。

Q.物資配布の後、人々の様子に変化はありましたか。

配布を終え、各世帯を訪問しました。洪水で家や家財を流された家庭が多く、配布した調理器具や食料は特に重宝されているようです。日中は厳しい暑さが続きますが、朝晩は息が白くなるほど冷え込みます。各世帯に2枚配った厚手の毛布も早速使われているようでした。



齋藤スタッフ

グッドネーバース・ジャパンは、2013年11月のフィリピンの台風で被害を受けた東サマール州ギワンで、復興に向けた子どもの学習環境改善事業を行いました。被災当初は、屋根が崩壊した校舎で授業が行われており、雨風の強い日は風でシートがなびき、怖がる子ども達もいました。その後、子ども達はテントの仮設教室で学習していましたが、子ども達が安心して長く使える丈夫な校舎の再建が地元住民や政府から望まれていました。そして、今年の2月、遂に新校舎が完成しました！これからは丈夫な校舎で落ち着いて授業を受けることができます。（こちらの事業は一部フェリシモ地球村の基金の助成を受け実施しています。）



屋根が崩壊した校舎



テントの仮設教室（2014）



完成した校舎の前で笑顔を見せる子ども達

チャドにあるリアンドチャド・スクール（Lee&Chad School）に図書館とパソコン室ができました。オープニングセレモニーには地域開発委員会の委員、地域住民、生徒達が参加しました。オープニングセレモニーの後、生徒達はパソコン室や図書館を見学し、本を手にとったり、パソコンを使ってみたりしていました。図書館には1000冊の本が、パソコン室には20台のパソコンが設置され、約300人の子ども達が本を読んで多様な知識を得たり、情報教育も受けられる環境が整いました。



完成した図書館で本を読む子ども達

このリアンドチャド・スクールは、ホープスクール（希望学校）プロジェクトの一つとして2012年に韓国人の歌手、イ・スン Cholさんにより建てられた学校です。

※ホープスクールプロジェクトは2010年に韓国人俳優の故パク・ヨンハさんがチャドのファシャアテレに建設した「ヨナスクール」がきっかけで始まりました。子どもの教育に必要な教室、校庭、トイレ、井戸などの基本的な設備はもちろんですが、ヘルスセンターも各地に併設し、子どもだけでなく学校を中心とする地域全体の健康をサポートしています。



設置されたパソコンと本

子ども支援事例のご紹介

子どもサポーターの支援を受けている子どもをご紹介します♪

スルン・スレイ・ビンちゃん (14歳)

こんにちは！私の名前はスルン・スレイ・ビンです。カンボジアの首都プノンペンにあるチェンアク地域のスロック・チェック村で両親と兄弟と一緒に住んでいます。今は、ツオル・アンピル中学校の1年生として学んでいて、自分の勉強できる環境に本当に満足しています。まさか、私が小学校卒業後も勉強を続けることができるとは思っていませんでした。グッドネーバーズの支援のおかげですべてが変わったんです。グッドネーバーズは、私たちがよりレベルの高い教育を受け、将来良い仕事を見つけることができれば家族のためにもなると、教育支援をしてくれています。私は教育を受けるようになって、もっと勉強を続けたいと思うようになりました。その後も一生懸命勉強を続け、その結果、中学校への進学受験に合格しました。それ以来、どんなに大変なことがあっても、高校を卒業するまでは勉強に励もうと決めました。私の家庭は貧しいけれど、その目標を達成するためなら、頑張りなさいと家族は背中を押してくれています。教育の素晴らしさを教えてくれ、また将来の目標の手助けをしてくれたグッドネーバーズに感謝しています。



小学校の卒業式の姿

国内事業

レポート

アリフくん到手紙を届けました

2014年に国内で開催した『夏休み！親子でチャレンジ希望の手紙コンテスト』はDVDを家庭で鑑賞し、途上国で暮らす子どもに手紙を書くコンテストです。入賞した8名の手紙が今年3月に、DVDの主人公であるバングラデシュのアリフくんのもとへ届けられました。祖母と妹の3人暮らしで、家族を養うために工事現場で働いていたアリフくんは、現在どのような暮らしを送っているのでしょうか。



現在アリフくんは、グッドネーバーズの支援により妹と同じように毎日学校へ通い勉強に励んでいます。以前は早朝から夕方まで働いていましたが、仕事をやめて自由な時間も増えました。学校以外でもアリフくんの暮らしには大きな変化がありました。安定した収入源を確保するために、グッドネーバーズは牛一頭と畑を支援しました。アリフくんは牛に餌をやったり、水場で体を洗ったり、毎日大切に世話をしています。「将来子どもが生まれたら、市場で売って生活の支えにしたい」と話してくれました。

第三回国際防災世界会議のご報告

グッドネーバース・ジャパンは、3月14日～18日、宮城県仙台市で開催された第三回国連防災世界会議に出席しました。国連防災世界会議は、国際的な防災戦略について議論する国連主催の会議です。今回の会議では、187カ国から約6,500人、国内外の様々な団体が主催、企画したパブリック・フォーラムにのべ156,082人が参加しました。最終日の本会議では、ポスト2015防災枠組として今後の各国の防災の具体的な行動指針をまとめた『仙台防災枠組』と今回の会議の成果をまとめた『仙台宣言』が採択されました。「復興と防災を支える市民のちから」では、地元実行委員会のメンバーで自らパブリック・フォーラムを主催した方々がフォーラムの様子や議論の内容について報告しました。また、「市民協働と防災」、「女性と防災」のテーマ館の方々によるパネルディスカッションが行われ、市民のちからによる防災や復興の取り組みについて活発な意見交換がなされました。（第三回国連防災世界会議仙台開催実行委員会ホームページより）



参加した武鑑スタッフから

毎日数えきれない程のセッションが、仙台市の街中の至る所で開催され、その多くで日本人のスピーカーが登壇し、「日頃からの防災活動の必要性」を呼びかけていました。「災害大国日本」と呼ばれる国に住む私たちだからこそ、様々な被災経験をもとに、世界に警鐘を鳴らしていかなければいけないと改めて感じました。

キャンペーン

KURADASHI.jp ～もったいないを価値へ～

あなたのアクションが価値ある社会を生み出す

KURADASHI.jpとは、お買物を通して様々な社会貢献団体への支援ができ、気軽に継続的に社会貢献できるショッピングサイトです。



お買いものしながら社会貢献ができる！？

「KURADASHI.jp」では、まだ美味しく食べられるのに業界や企業のルール上、廃棄に至ってしまうもったいない商品を社会貢献に役立てるサービスを行っています。この取り組みでは、食品メーカー等が特別に協賛価格でこのサイトに出品しているため、健康食品などの食品・美容グッズ・日用品などが最大92%引きで購入できることもあります。購入金額の一部が社会貢献を行う団体に寄付されると同時に食品ロスの削減にも繋がります。

2015年4月16日よりグッドネーバース・ジャパンもKURADASHI.jpの支援先に加わりました。寄付金は、グッドネーバース・ジャパンが活動する途上国の子どもの給食支援や教育支援等に使われます。ちょっと興味があって試してみたい品物がありましたら、ぜひご利用ください！

KURADASHI

検索



スタッフも早速購入♪

ハワイアンサン「トロピカルパンケーキミックス」 170×12袋

(参考価格)

7776円が**2980円**に！

この内90円がグッドネーバース・ジャパンの寄付になります。(この商品の販売は終了しています。)

※全ての商品がグッドネーバースの支援になるわけではありません。

※商品は定期に変更されます。商品と支援先団体の組み合わせは、KURADASHI.jpの運営会社が決定します。

普段、グッドネーバース事務所のスタッフはどんな仕事をしているのでしょうか。とある1日を追ってみました♪

	小泉事務局長	飯島スタッフ (広報)	武鑑スタッフ (国内災害対策・ファンドレイジング)	吉元スタッフ (支援者サービス)
10:00	経理	SNS投稿・返信	東京災害ボランティアアクションプラン推進会議	サポーターさんの入退会処理
11:00	職員の健康診断調整 来客対応	web編集・投稿		月ごとの寄付状況のまとめ
12:00	非常用燃料燃焼実験 ランチ	プレスリリース原稿作成	メール返信	ランチ
13:00	ネパール航空券手配 カンボジア監査書類作成	ランチ 	ランチ	お手紙の翻訳依頼・チェック 
14:00	ネパール事業エンジニア 打ち合わせ 	年次報告書の翻訳文章校正 webシステム関連打ち合わせ	企業との案件調整 	メールマガジンの作成
15:00	都庁書類作成 予防接種予約	インターンの WEB原稿チェック 修正指示	キャンペーン運営会議	
17:00	オンライン承認システム 検討	子どもの保育園お迎えのため 時短で退勤	事務所非常食調整	一年に一度子どもサポーター さんに届ける「子どもの成長 記録」の確認
18:00	備蓄食料案チェック 労働契約書作成		国内・国外災害対策フロー調整	
19:00	マラワイへ出張中のスタッフへ電話		齋藤スタッフ・谷口スタッフはマラワイに出張中！！	

編集後記

TONARIのご愛読ありがとうございます。本会報(p.3)を製作中に目に留まった「紙飛行機をとばす子ども達」(緊急支援ネパールページ) ...どのような思いで飛ばしているのか気になります。子ども達が希望に満ちた笑顔で過ごしてくれたらいいなあと感じて載せた、お気に入りの1枚です。ところで、前回の会報でご案内した「ねば子古着10tキャンペーン」ですが、皆様のご協力により目標10t達成したため終了いたしました。7月より新たなキャンペーンを行いますので、楽しみにしててください。インターンとして編集に携われたことを光栄に思います。ありがとうございました。

編集：佐々木四史

📞 お問い合わせ・資料請求

0120-916-010 (平日10時~18時)
[Email] sup@gnjp.org

📍 住所変更のご連絡をお願いします！

ご住所やメールアドレスを変更されたサポーター様は、お手数ですが、グッドネーバース・ジャパン事務局までお電話、またはメール(左記参照)にてご連絡ください。

子どもサポーター

検索

 Good Neighbors
Japan

発行：認定NPO法人 グッドネーバース・ジャパン
〒143-0016 東京都大田区大森北2-14-2大森クリエイトビル3階
[Tel] 0120-916-010 [Fax] 03-6423-1766 [Email] admin@gnjp.org
[URL] http://www.gnjp.org [Facebook] facebook.com/gnjp [Twitter] @GNJapan